

# よしみ

## 議会だより

2014

第138号

埼玉県

吉見町議会

11月1日発行

編集

議会だより編集特別委員会

比企郡吉見町下細谷411

TEL 0493(63)5024



9月定例議会

- 平成25年度決算 …P 2～
- 議案審議結果 …P 8～
- 一般質問に9名登壇 …P 12～

この議会だよりは再生紙を使用しています。

# 保健センタ 悠友館との

## 平成25年度の決算を認定

9月定例会は、9月3日から22日までの20日間の会期で行なわれました。

今定例会は、平成25年度の各会計決算認定、平成26年度一般会計及び特別会計補正予算、新規条例及び一部改正、請負契約の締結、人事案件等27議案、すべて可決、認定、同意されました。

### 平成25年度一般会計決算収支状況

その他 1.75億(2.57%)

地方譲与税 1.28億(1.91%)

地方消費税交付金 1.71億(2.56%)

分担金及び負担金 1.80億(2.70%)

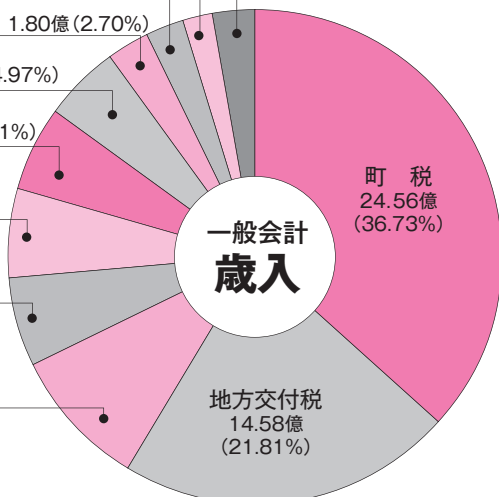
県支出金 3.32億(4.97%)

諸収入 3.82億(5.71%)

繰越金  
3.83億(5.73%)

町債  
4.00億(5.99%)

国庫支出金  
6.23億(9.32%)



労働費 0.04億(0.06%)

商工費 0.52億(0.83%)

議会費 0.99億(1.60%)

諸支出金 3.01億(4.82%)

消防費 3.63億(5.82%)

農林水産業費  
4.24億(6.80%)

衛生費  
4.33億(6.94%)

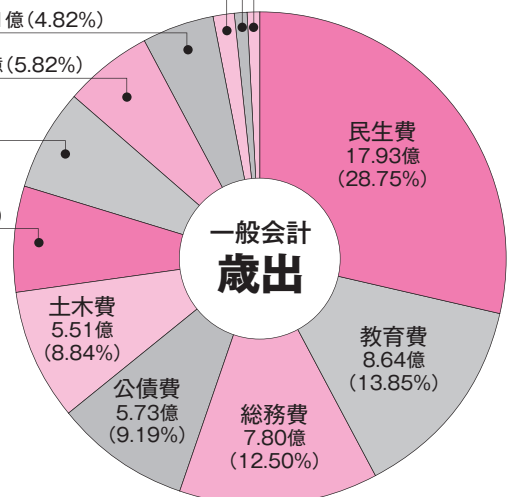
土木費  
5.51億(8.84%)

公債費  
5.73億(9.19%)

民生費  
17.93億(28.75%)

教育費  
8.64億(13.85%)

総務費  
7.80億(12.50%)



# 一を木質化

## 連携も整備

### 各種会計決算収支状況

会計名		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計		66億8830万2617円	62億3683万0046円	4億5147万2571円
特別会計	国民健康保険特別会計	27億0581万9186円	25億0284万9487円	2億0296万9699円
	後期高齢者医療特別会計	1億4262万7256円	1億3982万9464円	279万7792円
	介護保険特別会計	12億4785万4813円	12億1167万0255円	3618万4558円
	百穴管理特別会計	2077万9251円	1389万2910円	688万6341円
	下水道事業特別会計	5億4711万7615円	5億1658万6967円	3053万0648円
	農業集落排水事業特別会計	7億3456万9402円	6億7426万3104円	6030万6298円
	公設浄化槽事業特別会計	2991万0200円	2913万2845円	77万7355円

#### 水道事業会計

#### 収益的収入及び支出

収入 6億4045万3799円  
支出 5億8200万1037円

#### 資本的収入及び支出

収入 1億1213万5500円  
支出 3億5792万6981円

※収入不足については、損益勘定留保金などにより補てんしました。

# 主/な/議/案/の/内/容

※質疑等があった議案を掲載しています。

## ■議案第44号 吉見町歯科口腔保健の推進に関する条例

### 内 容

町民が生涯にわたり健康で過ごす事が出来るよう、町民一人ひとりが歯科疾患の予防の重要性に対する理解を深め、自ら責任を持って取り組むとともに、町及び口腔歯科に関わる者が、それぞれの責務及び役割を果たしながら町民の歯と口腔の健康づくりを推進する。

### 主な質疑

問

各年齢層に対する施策の詳細は。

答

・乳幼児期からの虫歯予防  
・妊婦さんを含む口腔状態の維持及び歯周病予防  
・80歳で20本以上の歯を維持  
・高齢者及び障がい者の受診体制の整備

問

新たな取組みは。

答

・妊婦さんに対する口腔指導の充実  
・母子愛育会により妊婦、乳幼児歯科口腔の周知  
・比企郡市歯科医師会との連携による講演会等

議員

提出者

## ■議案第45号 吉見町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

### 内 容

保育所、認定こども園及び新制度に移行する幼稚園の運営に関する基準の設定。家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業及び事業所内保育事業の運営に関する基準の設定。

### 主な質疑

問

事故や疾病、アレルギー等の緊急時が発生した時の対応策は。

答

AEDの使用やエピペン、座薬の使用、消防署への連絡等が考えられる。具体的な措置の内容は、緊急時における対応方法の中に定める。

問

保育事業者が、保育料以外の負担を新設・見直しをする場合は町と協議をし、極力引き上げとにならないよう関与していくことが必要と考えるが。

答

事業者と町が協議をするほか、内容についても指導するなど必要な調整を行っていききたい。

議員

提出者

### 反対討論

日本共産党 杉田しのぶ議員

保育事業者と保護者が直接契約する利用方式は契約の結果は全て自己責任となり、保育難民が生まれることも懸念される。また保護者の負担する費用も預ける施設により、格差が生じる事もある設定であり、公立保育所にあわせた保護者負担額・運営基準とすべきである。

議員

## ■議案第46号

# 吉見町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

### 内容

家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業及び事業所内保育事業の認可基準である設備及び運営に関する基準の設定。

### 主な質疑

問

施設の面積基準は、国の基準以上に行っている自治体もあるが、町はどのように検討したのか。

答

国が示す最低基準を引用した。

問

食事の外部搬入が認められているが衛生面での問題は。

答

外部搬入する受託者は、衛生面について調理業務を適切に遂行できる能力を有するとしているため問題ない。

問

保育資格はなくても研修を修了すれば保育にあたるということだが、安全性に問題はないか。

答

国が示す基準のとおり規定するものであり、安全性は確保されていると理解している。

議員

提出者

### 反対討論

日本共産党 奥村栄昭議員

給食の提供は衛生面やアレルギー児の対応、子供の体調に応じたきめ細かな対応をするために自園調理は必須。保育にあたるものは国家資格である保育士を配置すべきである。

議員

## ■議案第47号

# 吉見町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

### 内容

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の設定。

### 主な質疑

問

条例制定に伴い現在の学童の基準が下回ることにならないのか。

答

国のガイドライン及び県の運営基準に基づいているため問題はない。

問

定員40名とあるが現状はどうなのか。

答

いちごクラブが32名、のびっこクラブは50名の登録であるが、通所児童は40名程度である。

問

最低基準の向上と指導員の待遇改善も含めて保護者会との連携の考えは。

答

放課後児童健全育成事業が停滞しないように、また指導員の待遇等も含めて保護者会と十分連携を図っていく。

議員

提出者

# 主/な/議/案/の/内/容

※質疑等があった議案を掲載しています。

## ■議案第48号 吉見町保育の必要性の認定に関する条例

**内 容** 保育の必要性の認定に関する基準の設定。

### 主な質疑

**問**

保育時間は、通勤時間も考慮しているのか。

**答**

勤務時間だけではなく、勤務地までの往復の通勤時間も加味して、保護者に不利にならないようにしたい。

議員

提出者



## ■議案第49号

## 吉見町重度心身障害者医療費支給に関する条例及び吉見町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

**内 容** 精神障害者保健福祉手帳1級を新たに医療費通院分のみ支給対象とする。65歳以上になってから新たに重度心身障害者になった者を医療費補助の対象外とする。

### 主な質疑

**問**

65歳以上の新規障害者手帳取得者が、医療助成の対象外となるが代替措置はあるのか。

**答**

代替措置は後期高齢者医療制度に加入することで、自己負担が1割に軽減されるためこの制度を周知していく。

**問**

町がこれまで負担していた分を充てて、後期高齢者医療制度を活用して本人負担を無料にすることが出来たと思うが、検討はしたのか。

**答**

検討はしたが、やむを得ない措置であろうという判断でこのような形になった。

議員

提出者

### 反対討論

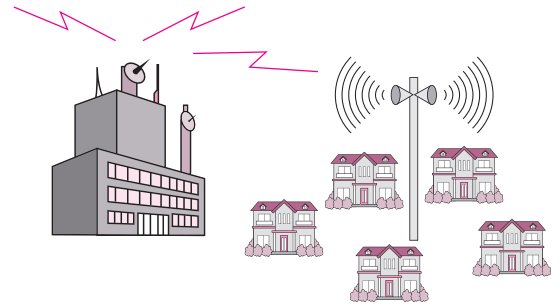
日本共産党 杉田しのぶ議員

重度障がい者の多くは、多数の診療科を恒常的に受診しており、重い医療費負担となっている。障がい者が医療費に心配することなく、必要な医療を受けられるように公的な支援を行うことは必要であり、制度の維持を理由に年齢で助成対象を線引きし、支給に制限を設けることは認められない。

議員

## ■議案第50号 請負契約の締結について

・契約の方法	随意契約(プロポーザル方式)
・施工場所	町内全域
・契約金額	2億2188万6千円
・契約の相手方	埼玉県さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地16 株式会社日立国際電気 北関東営業所 北関東営業所長 柏原 伸
・工 期	契約の日から平成28年3月25日まで



**内 容** 約28年間使用されてきた防災行政無線を更に聴こえるようにデジタル化へ交換。

### 主な質疑

**問**

防災行政無線の操作方法の職員へのサポートは。

**答**

日立国際電気から各設備の操作説明・日常点検などの管理方法、トラブル対策等についても研修機会を設けて具体的に職員が運用できるよう支援することになっている。

**問**

設置後に故障した場合の保証は何年か。また、その後の保守点検は。

**答**

保証は5年で、その後の保守点検でも金額は非常に安価な提示をいただいている。

議員

提出者

## ■議案第53号 吉見町一般会計補正予算(第3号)

既定の予算額にそれぞれ2億1697万7千円を追加し、予算の総額を75億4008万1千円とするものです。

### —主な歳入—

	(万円単位に四捨五入)
○地方交付税	8458万円
○国庫支出金	1030万円
○県支出金	768万円
○繰入金(基金繰入金)	△1億3464万円
○繰越金	2億0130万円
○諸収入(雑入)	547万円
○臨時財政対策債	4257万円

### —主な歳出—

	(万円単位に四捨五入)
○パソコン購入費(180台等)	3566万円
○コールセンター業委託料(滞納整理強化)	648万円
○予防接種委託料(水ぼうそう・高齢者肺炎球菌)	450万円
○舗装修繕工事	500万円
○側溝整備工事(5か所予定)	2062万円
○舗装修繕工事(6か所予定)	3627万円
○維持修繕等工事(1か所予定)	151万円
○私立幼稚園就園奨励費補助金	638万円
○財政調整基金積立金	7940万円

### 主な質疑

**問**

決算で余ったお金は有効に使い、地域要望に極力応えていくことを重視して補正予算を組んでもらいたい。

**答**

予算は単年度で終結するものではないので、長い目で財政状況を見ながら支出していくという観点で進めている。地域要望をできるだけ重視するという事は同じ考えである。

**問**

パソコンの購入を行う理由は。

**答**

費用面で購入した方が安価である。

議員

提出者

# 議 案 審 議 結 果

## 町長提出議案

議案番号	件名	結果	秋山	奥村	伊与田	尾崎	神田	荻野	岩崎	安孫子	宮崎雄	杉田	小林	内野	小宮
議案第44号	吉見町歯科口腔保健の推進に関する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第45号	吉見町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	可決	●	×	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●
議案第46号	吉見町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決	●	×	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●
議案第47号	吉見町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第48号	吉見町保育の必要性の認定に関する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第49号	吉見町重度心身障害者医療費支給に関する条例及び吉見町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	●	×	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●
議案第50号	請負契約の締結について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第51号	町道路線の廃止について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第52号	町道路線の認定について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第53号	平成26年度吉見町一般会計補正予算(第3号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第54号	平成26年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第55号	平成26年度吉見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第56号	平成26年度吉見町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第57号	平成26年度吉見町百穴管理特別会計補正予算(第1号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第58号	平成26年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第59号	平成26年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第60号	平成26年度吉見町公設浄化槽事業特別会計補正予算(第2号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第61号	平成25年度吉見町一般会計決算認定について	認定	●	×	●	●	×	●	●	●	●	×	●	●	●
議案第62号	平成25年度吉見町国民健康保険特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第63号	平成25年度吉見町後期高齢者医療特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第64号	平成25年度吉見町介護保険特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第65号	平成25年度吉見町百穴管理特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第66号	平成25年度吉見町下水道事業特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第67号	平成25年度吉見町農業集落排水事業特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第68号	平成25年度吉見町公設浄化槽事業特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第69号	平成25年度吉見町下水道事業会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第70号	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
請願第 1号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願	採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
発議第 3号	「手話言語法」制定を求める意見書(案)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●



# 一般会計決算

## 反対 討論 日本共産党 杉田しのぶ議員

平成25年度決算においても、部落解放運動団体補助金が1世帯につき3万800円出ているが、町は部落差別に対する独自の調査も行わずに補助金の支出を続けている。

地域を限定して行っている集会所学級は設置当初の目的はすでに達成しており、吉見の子ども達に公平な立場で事業を考えるなら、放課後子ども教室の事業に転換をするべき。

職員の年休の取得状況は平均で6日。1日も取得しなかった職員は12名いた。厚生労働省が進めている職員の年休の取得の促進を図るため各課で実態調査を行い、改善を図ることを求める。

土地開発基金に関する事務については、買収の説明もない中で土地の購入をし、議会軽視ともとれる行為を厳しく指摘する。

## 賛成 討論 小林周三議員

個々の色々な考え方はあると思うが、審議の中で土地開発基金については、委員会でも集中審議をし担当課長からも説明があり議会を軽視したのではなく、町民の救済を第一に考えた結果、議会に対して説明が足りなかった。と真摯に反省をしているので委員長の立場で賛成をした。予算で認定されたものが、どのように決算されているか、それを各委員会が慎重に審議をした結果、認定報告をした。

町の職員が町民福祉の向上を第一に考え町長を先頭として、しっかりとした予算執行に努めた結果だと考えているので賛成すべきと訴えたい。

### 請願 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願

提出者 比企聴覚障害者の会  
会長 西沢登志雄

紹介議員 杉田しのぶ

#### 趣旨

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」を制定すること。

#### 請願審査報告

平成26年9月3日に付託された請願について9月11日に教育福祉常任委員会で慎重審議の結果、採択すべきものと決し、9月22日の本会議においても全員賛成で「採択」されました。

### 発議第3号 「手話言語法」制定を求める意見書(案)

請願が採択されたことにより「手話言語法(仮称)」を制定することを求め

#### 全員賛成で可決

国に意見書を提出



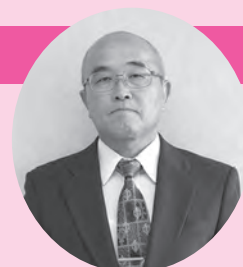
本議会議場に手話通訳

## 人 事

### 人権擁護委員の候補者の推薦について

人権擁護委員の候補者に原 芳夫氏を推薦しました。

住 所:吉見町大字一ツ木153  
生年月日:昭和26年4月3日



# 平成25年度末の財政調整基金及び減債基金の合計残高12億1629万4409円

総務建設常任委員会 | 小林 周三 委員長

平成25年度吉見町一般会計決算のうち、関連する歳入及び歳出の議会費、総務費（福祉町民課所管分を除く）、衛生費（健康推進課所管分を除く）、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金及び予備費の関連科目、平成25年度吉見町百穴管理特別会計決算、平成25年度吉見町下水道事業特別会計決算、平成25年度公設浄化槽事業特別会計決算、平成25年度吉見町水道事業会計決算について審議いたしましたので報告いたします。

## 選挙の投票率の向上を

若者の選挙離れの理由などを把握した上で、選挙管理委員会の中でも有効な対策を調査研究してほしいと要望しました。

## 道路用地を土地開発基金で買収した理由は

当該土地は、町道の一部であることから町が買収しました。この土地の買収については武蔵丘短期大学と継続協議中でありますので、土地開発基金で買収し、協議の間、当該基金で管理することにしております。

この土地開発基金を巡る事務処理に対し、以前から町の課題の一つであります。今後、事前に議会に説明し、方針などを確認した上で進めてほしいと強く要望しました。

## 大雪の際の巡回バス運行状況は

2月の大雪の際は、大幅なタイヤの遅れ等はありませんでしたが、バスの運行そのものを見合わせるには至りませんでした。これに対し、自然災害等で運行に遅れが生じた場合は、防災行政無線などで利用者への周知徹底を図ってほしいと要望しました。

## 住宅リフォーム補助金は

平成25年度の利用件数は20件で、町内業者へ約4,026万円の発注がなされており、大きな経済効果が出ているものと考えております。

## 観光PR事業等の補助金は

町の魅力を広く発信するとともに、交流人口の増加に向けて、商工会をはじめ各団体へ活動費としての補

助を行っております。平成25年度は八丁湖ヒーリングナイトを初開催し、町内から多くの方が町を訪れ、報道機関にも取り上げていただきました。これに対し、町内飲食店への来客数の増加等経済効果が上がる取組みを進めてほしいと要望しました。

## ごみ集積所の設置費用の現状把握と補助額は

設置費用は、補助金申請書により把握しております。これに対し、地域の環境衛生の点から見れば、カラスや動物による被害が生じないような構造の集積所が望まれます。補助金交付要綱も既に20年が経過していることを考えると、補助額の見直しを検討してほしいと要望しました。

## 区長からの工事要望は

平成25年度は23か所の要望箇所の工事を実施しており、残りの区長要望件数は478件となっております。また、工事箇所については、安全性や緊急性を検討するとともに、地域のバランスなども考慮し選定しております。

## 公共下水道未整備区域の公設浄化槽推進は

公設浄化槽区域の位置付けがないため、整備は難しい状況であります。これに対し、下水道整備には膨大な経費と時間がかかることから、生活排水処理基本計画を見直し、公設浄化槽区域を拡大してほしいと要望しました。

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり認定すべきものと決した次第であります。

# 給食費の徴収率100%

教育福祉常任委員会 | 安孫子 和子 委員長

平成25年度吉見町一般会計決算のうち、関連する歳入歳出の総務費(福祉町民課所管分)、民生費、衛生費(健康推進課所管分)、教育費及び平成25年度吉見町国民健康保険特別会計、平成25年度吉見町後期高齢者医療特別会計、平成25年度吉見町介護保険特別会計の決算について審議いたしましたので報告いたします。

## 給食費の滞納整理の状況は

平成25年度現年度分の給食費徴収率は100%で、昼夜を問わず複数回自宅訪問し、丁寧に交渉を重ねた成果であります。この状況を広く町民に周知し、新たな滞納が発生しないよう、教育委員会と学校が一体となって取り組むよう要望いたしました。

## ねたきり老人等手当の増額を

介護保険の在宅サービスも利用でき、介護保険の状況と合わせて検討する必要があるが、在宅サービスは夜間利用できないので、在宅介護を支援するため、手当の増額の検討を要望いたしました。

## がん検診等の受診者数は

平成25年度は、それぞれのがん検診受診者の増を合計すると、前年度比2,739人増えており、特に大腸がんの受診者は399人の増で、骨密度測定は、対象者に男性を含めたことから935人の増となりました。また、脳ドックの受診者が少ないので周知に努めるよう要望するとともに、早期発見・早期治療が、ひいては医療費削減につながるので受診率向上に努めるよう要望いたしました。

## 障害者の外出支援の現状は

福祉タクシーの登録者数は123人で、実利用者は66人でしたが、外出支援には福祉タクシーの他、移動支援事業や福祉移送サービスなどがあり、障害をお持ちの方がより利用できるように情報提供を行うよう要望いたしました。

## 町民会館遮熱フィルム設置後の効果は

平成25年度と平成26年度の4月から8月までの電気使用量を比較すると、会館の稼働率が前年度を上回る中、約1割の減少となりました。

## 国民健康保険特別会計

前年度の繰越金が増加した理由は、徴収努力による税収の伸びや経営姿勢が良好な保険者として、県内63自治体中第3位の評価を受け特別調整交付金が交付されたことなどによるものです。また、レセプトの膨大なデータを利用し、疾病の重症化を予防する事業の取り組み状況は、吉見町国保の被保険者の特徴として、腎臓関係疾患が多いことが分かり、平成26年度に保健センターで慢性腎臓不全の予防に取り組んでいます。今後もデータを活用した取り組みを検討するよう要望いたしました。

## 介護保険特別会計

要介護認定者の推移は、平成24年度末618人で、平成25年度末は42人増加し660人です。今後ますます介護給付費が伸びる中、高齢者が健康で過ごせるよう、介護予防事業への参加を促し、保険料の抑制に努めるよう要望いたしました。また、包括支援センター総合相談事業では、介護保険サービスの利用方法や家族から閉じこもりがちになった高齢者の相談、認知機能の低下している高齢者への対応など多くの相談が寄せられており、24時間対応のランチ型総合相談窓口を有効に活用しながら対応に努めるよう要望いたしました。

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり認定すべきものと決した次第であります。

# 町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

## 一般質問とは？

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長に質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。(持ち時間1人60分)

議会だよりでは、その内容を約700字以内で要約しお知らせしています。

## 労働安全衛生の 重点施策(メンタルヘルス) への取り組みは

伊与田 隆 議員



**問** 職員の健康管理、特に課長級職員の健康管理について。

**答** 町では国で定めた法の趣旨を踏まえ、職場内外の研修により、自らメンタルヘルスケア対策の知識を習得するとともに、職員間の情報提供等を通じて心身の健康状態を把握し、早期発見、早期対策に努め、専門医への受診を促し、場合により配置転換などの措置をとっています。

**問** 私自身一議員としてこれからも、一人ひとりに対して気配り、気遣いを欠かせないと思うところだが、本町においては、職員の健康状態や人事配置など全体に目を配り、総合振興計画にある「笑顔でつながる元気なまちよしみ」を目指していただきたいと強く要望するところだが、心の病の疑いがある職員が休暇に入った時の対応はどのように行うか。

**答** 一般職員は担当課長と総務課で、管理職は町長・副町長と総務課で協議の上、本人や保健師等との面談を実施し必要に応じて配置転換等を行います。

**問** ふるさと納税の町の現状と取組について。

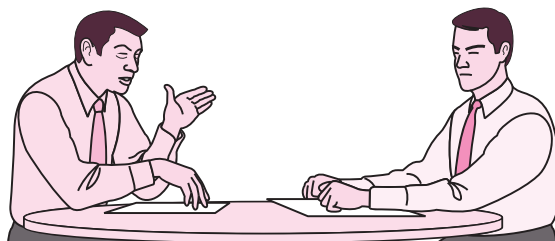
**答** 平成20年度から導入された寄付の制度だが、現時点で9件、322万2200円です。町では26年度から一万円以上の寄付に町の特産品と町制40周年記念DVDの贈呈を始めました。

**問** 「まちおこし」事業と考え、寄付のお礼に苺狩り無料券のプレゼントの取組みはどうか。

**答** 本町には多くの苺狩り来町者があるので、町のPRにつながることを期待できると思います。

その他の質問  
・避難勧告発令について。

※メンタルヘルスとは精神面における健康のこと



## 教育で貧困からの脱出を

» 小林 周三 議員



**問** 貧困の連鎖解消について。学力が低い状況に置かれている家庭状況の中から、勉強をしたくてもできない、授業がわからない、理解できない、次の課程にはついていけない、悪循環に陥っているのだと思うのです。中学校、小学校で行っている補習授業の内容について伺います。

**答** 吉見中学校では、平成17年度から学力の定着が不十分な生徒を対象に、それぞれの学年ごとに始めました。各小学校では、4日間から8日間、平均すると約6日間、1学期の学習を中心に取り組んでいます。児童の感想は「サマースクールで一生懸命勉強して、どうやると筆算ができるのかわかってよかった。」「わからないことがあったが、先生方やボランティアの方々がわかりやすい教え方をしてくれてよかった。」貧困の連鎖から抜け出す、確かに子供たちの学習支援を充

実していかなければならないというのは、教育委員会としてもこれは重く受けとめています。貧困の連鎖を断ち切るためには、小学校の学力というのが極めて大事だと思っています。

**問** 保育料の見直しについて。

**答** 平成27年度から実施される子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、新たな基準に対応するため保育料の見直しが必要となります。あわせて現在の保育の質を確保し、利用者負担の公平性の確保の観点からも、階層区分の見直しについては研究・検討していきます。見直しをする際には、議会やその分野に詳しい方々の意見を聞くことも大変大事なことであると考えます。



西が丘小学校のサマースクール

## 認知症対策急げ

» 公明党 安孫子和子 議員



**問** ホームページに認知症チェッカー導入を。

**答** 認知症チェッカーにより認知症に不安を感じる方に相談先を紹介し、早期治療による進行の防止に努めることのできる有効なサイトであると認識しています。調査研究し早期導入に向け、相談体制の充実を図る必要性があると思います。

**問** 高齢者施策の要である地域包括支援センターをホームページで分かりやすく表示すべきでは。

**答** 認知症の相談窓口である地域包括支援センターの情報を、より充実させるとともに検索しやすい環境を整えます。

**問** 認知症徘徊者への声かけ方法などを具体的に実践する模擬訓練を、認知症サポーター養成講座とともに実施することを提案するが見解は。

**答** 模擬体験等、より具体的な対応方法を取り入れる

ことは有用であると考えます。今年度も認知症サポーター養成講座を開催するので取り組みます。

**問** 公共工事の早期発注・平準化を。今年2月の大雪の際には、夜を徹して除雪にあたり、災害時には住民の命と安全を守るため、身を挺して応急復旧活動を担っているのが地元の建設土木の業者さんです。先の政権で業界は疲弊し、重機を抱えきれず、リースにしている業者が増えました。そのしわ寄せは災害時に顕著に現れます。地元業者さんの育成の観点から、早期発注・平準化に対する見解は。

**答** 第1四半期の発注に重点を置いている近隣自治体もあり、調査したところ事務の仕方に違いがあるのだと思いますので、調査・研究し発注量の調整を担当課と協議します。





## 特色ある子供達の育成を

▶▶ 尾崎 豊 議員

**問** 国際交流事業について、今後の取り組みは。

**答** 国際交流活動を紹介することで、活動の輪を広げることができます。身近な国際交流であるワンナイトステイの受け入れ家庭のあっせんなどを行っています。平成32年には東京オリンピックも開催され、国際交流がより身近に感じられるようになります。引き続き町民が国際的な視野を持ちながら、幅広く活躍できるきっかけとなるよう取り組んでいきます。

**問** 1人目の子育て支援の充実を。

**答** 保育をはじめ乳幼児を持つ保護者の相談、情報提供及び交流の場である子育て支援センター事業をはじめとして、ファミリーサポートセンター事業、学童保育所等の事業を実施しています。

**問** スポーツ少年団の活性化を。

**答** 少子化の影響もあり年々団員が減少しています

が、更に魅力あるスポーツ少年団になるよう今後とも、団員数の増加につながるような方策をスポーツ少年団と連携を図りながら、教育委員会としても検討していきたいと考えています。

**問** 吉見町の花は菊ですが、小学校での特色ある菊の一鉢運動の取り組みを。

**答** 町の花「きく」について児童に知らせたり、親しみを持たせたりしていくことは大切なことだと考えています。今後、菊の種類を含め栽培できるか校長会で検討していきます。

その他の質問

- ・防災訓練の取り組みと、災害時に役場職員と判断できる服装を。
- ・英語教育についてどう取り組むか。



日韓スポーツ少年団交流事業



## 吉見町の交通手段について

▶▶ 日本共産党 奥村 栄昭 議員

**問** 鉄道のない吉見町にとって巡回バスは町民の重要な移動手段であり、この先高齢化により自動車の運転ができなくなる住民も増えてくると思われます。吉見町で運行されている巡回バスの年間の利用者数は。

**答** 平成15年度が最も少なく2万2421人でしたが、運行ルートを見直した22年度は2万6776人、25年度は3万1829人でした。

徐々にですが利用者数は増えている状況です。

**問** 巡回バスの路線数の追加が望ましいと考えるが町の見解は。

**答** 現状バス2台の運行ですが、本町の場合バス1台の経費は約1500万円ですので、費用対効果をよく検討していく必要があります。

**問** 最近政府は、地方自治体が主流となってデマンド方式のバスやタクシーを運転する仕組みを本格的に

普及させる方針を固めたとの報道がありました。

近隣の自治体でも既にデマンド方式を導入しているが吉見町の見解は。

**答** 郡内ではときがわ町、鳩山町、近隣では北本市が導入しています。

また現在使用しているバスの走行距離が110万キロを超えているために巡回バスの運営を見直す良い機であると捉えていますが、デマンド方式にはそれぞれメリット・デメリットがあるので今後、調査・研究をしていきたいと思います。



町内巡回バス

## 広域農道について

▶▶ 神田 隆 議員



**問** 広域農道は、農業生産活動に利用される道路であり、農業資材等の搬入や収穫物の運搬等に利用される基幹的農道として建設されたが、広域農道について町の考え方は。

**答** 近年は交通量の増加により、農耕車の通行等に障害をきたしている状況であります。その一方で、広域的な道路として農産物の流通において利便性の高い道路であり、町では複数の市町を連絡する幹線道路として位置づけています。

**問** 広域農道は、昭和56年度完成以来交通事故が発生していますが事故状況は。

**答** 広域農道では、平成23年から25年までの3年間で、人身・物損事故合わせて75件発生しており、死亡事故については、平成16年から平成25年まで10年間で4件発生しています。

**問** 広域農道の交通安全施設及び維持管理は。

**答** 交通安全施設は、職員パトロールによる確認や区長並びに関係者の協力により維持管理に努めています。

**問** 道路周辺の家屋や居住者に振動を感じさせるような事があるが、町では道路交通振動の状況把握また対策は。

**答** 道路交通振動の主な要因は通行車両の荷重や速度、道路の平坦性及びマンホール、横断構造物や継目の段差であると考えられます。道路交通振動を軽減するため、わだちやひび割れの状況を把握し、国の補助金制度を活用しながら舗装修繕に取り組み、平坦性の確保に努めています。マンホール、横断構造物についても、状況に応じ修繕を実施しています。



広域農道

## 町役場職員のメンタルヘルス対策の強化を

▶▶ 日本共産党 杉田しのぶ 議員



**問** 町役場職員のメンタルヘルス対策の必要性と具体的な対策について町長はどのように考えるか。

**答** 職員が心身ともに健康な状態でなければ良質な行政サービスの提供はできないため、メンタルヘルス対策は重要な取り組みと考えている。具体的な対策としては、メンタルヘルスクエアの方策を学ぶための研修に随時職員を派遣している。

**問** 10年前と比較をすると職員数では36人。精神疾患で長期病休となった職員はほぼ毎年数人出ている。一方で国や県からの権限移譲や行政サービスが多様化する中で、仕事量はかなり増えている。町長はこうした現状をどのように捉えているのか。

**答** 10年前と現在は機構が全く違い、適正な人員配置となっている。対策をとらずに人員を減らしたのではない。大方の職員は健全に仕事をしているので精神

疾患は個性的なものが強いのではと考える。

**問** このような考えの町長の下ではメンタルヘルス対策は期待できない。町長自ら研修を受けるべきと考えるが、町長は研修を受けているのか。

**答** 私はかつて、メンタルヘルスについて研修を受けさせる立場として自分で学習している。

**問** 精神疾患を未然に防ぐという立場で、現状に基づいた必要な対策をとるためにも、個別にメンタル面での調査を行うべきと考えるが担当課の見解は。

**答** 労働安全法の一部改正によりストレスチェックをすることが義務づけられたので、来年度中には実施をしてその後の対応を行う体制づくりを進めたい。

### その他の質問

- ・審議会委員等の一般公募者の選考基準と公募の目的は。
- ・新ごみ処理施設建設について。

年 度	21	22	23	24	25
職 員 数	182	180	176	174	172
長期病休者	2	6	10	5	4
内精神疾患	(1)	(4)	(4)	(4)	(2)

精神疾患実人数は8名

## 遊具を安全に使用する ための情報提供を



▶▶ 公明党 秋山 真美 議員

**問** 公園を安全に使用するための注意事項の周知は。

**答** 都市公園内に設置されているブランコや滑り台は、一般的な遊具なので、使用上のリスクを容易に把握できるものと考え、注意事項の掲示による周知は行っていない。

**問** 東京消防庁の調査では、遊具の事故で救急搬送された約50%が、ブランコと滑り台によると報告されている。事故を未然に防ぐため、安全確保に関する情報提供は必要ではないか。

**答** 今後、効果などを含め検討していく。

**問** 保護者や子供たちに対して情報提供する方法として、日本公園施設業協会ホームページから無料でダウンロードできる「仲良く遊ぼう安全に」という冊子を利用し、注意喚起ができると思うが。

**答** 活用に向け、関係課と調整する。

**問** 公園内に、緊急連絡先の表示を。

**答** 公園施設の安全確保には、利用者や地域住民等と連携することが不可欠である。緊急連絡先の表示方法など、検討する。

**問** 65歳以上の4人に1人が補聴器が必要との報告もある。公共施設の異常を知らせる警報は、音だけでは情報を得られない方への配慮と対策の一つとしてパトライトの設置の考えは。

**答** 利用者の状況を確認し、検討する。

**問** 妊娠・出産を望む夫婦が、不妊症・不妊症の治療を受ける際の経済的な負担を軽減するために、町独自の助成制度の創設を。

**答** 国や県および近隣市町村の動向を見ながら、検討する。



## 労働安全の重点施策 の取り組みについて



▶▶ 内野 正美 議員

**問** 職員の健康管理にかかわる心のケアについて、町の三役はどの程度心のケアにかかわっているのか。

**答** 職員が心身ともに健康であることは大変重要なことです。私どもは随時、報告、連絡、相談を受け、職員の心身の健康状態の把握に努めています。

**問** 職員とコミュニケーションをとるのが大切と考えるが、どのように考えているか。

**答** 職員とコミュニケーションをとり、職員の状況を把握しながら、仕事を進めていくことが大切であり、そのことを心がけていきたいと思えます。

**問** 副町長や教育長と協力して、吉見町役場の職場が、ストレスのない職場になるように努めてもらえるのか、町長の考えを伺いたい。

**答** 職員一人一人が自分の仕事を自覚して心身ともに健康で仕事をするのが、職員にとっても、我々管

理職にとっても幸せなことであるし、そのようにすることが良い町をつくることに繋がりますので、これからも変わりなく努めていく所存です。

**問** 全国市町村別の将来推計人口について、25年後、吉見町はどの程度の人口減少の推計をしているのか。

**答** 国の機関の最新の推計値によると、平成52年の人口は平成22年の国勢調査時の21,079人の約6割になるとのことです。

**問** 新しい施策として、新しく家を建てて定住される方に奨励金を支出しているが、もう少し魅力のあるものにできないのか。

**答** 今後、この奨励金に続く取り組みを積極的に検討していきたいと思えます。





## 北本地区衛生組合議会定例会

» 奥村 栄昭 議員

期日 平成26年7月31日 午前9時から

場所 北本地区衛生組合議場

吉見町議会から尾崎豊議員、秋山真美議員、奥村栄昭の3名が出席いたしました。

吉見町の搬出量は5864.22キロリットルで前年度と比較してプラス582.74キロリットルで11.03%の増量との事です。

午前9時20分から本会議が開かれ北本市選出の黒澤健一議長の辞職に伴い議長の選挙が行われ、副議長の指名推薦により北本市選出の福島忠雄議員が新議長に当選

されました。

また、久喜市の議会構成の改選により欠員となっていた議会運営委員会副委員長は互選の結果、久喜市議会選出の青木信男議員が互選されました。

○議案第3号 平成25年度北本地区衛生組合歳入歳出決算の認定について

歳入決算額は3億5089万3167円、歳出決算額は3億1061万1277円で歳入歳出差引額4028万1890円が平成26年度に繰り越される事で原案のとおり認定されました。

## 比企広域市町村圏組合議会定例会

» 伊与田 隆 議員

期日 平成26年8月25日 午前10時から

場所 東松山市議会議場

吉見町議会から宮崎善雄議長と、伊与田隆の2名が出席いたしました。議長の開議宣告の後、会議録署名議員の指定がされ、会期につきましては、8月25日一日限りと決定いたしました。次に、管理者より行政報告の後、議案説明があり、上程された議案は、報告1件、専決処分1件、条例の制定及び改正3件、請負契約1件、財産の取得2件、補正予算議案4件、決算議案4件であります。主な議案を紹介します。

議案第27号東松山消防団第2分団に更新配備する、水槽付消防ポンプ自動車を購入について

議案第28号消防本部に更新配備する地震体験車を購入について



議案第29号平成26年度比企広域市町村圏組合一般会計補正予算について予算総額に229万6千円を追加し、予算の総額を7929万6千円といたしたいとするものです。

議案第30号は、平成26年度比企広域市町村圏組合消防特別会計補正予算についてであります。歳入歳出予算の総額に6519万5千円を追加し予算の総額を37億4719万5千円とするものであります。議案第33号ないし議案第36号は、平成25年度比企広域市町村圏組合一般会計ほか3特別会計決算であり、監査委員の意見を付して認定いただきたいとするものです。以上、上程されました議案は、慎重審議の結果、原案の通り可決、認定されました。最後に、消防本部で行われた、少年・少女の消防体験入隊の様子を写真で紹介いたします。



# 視察研修報告 議会だより編集特別委員会 尾崎 豊 委員長

**期 日** 平成26年8月4日(月)から5日(火)  
**視察場所** 新潟県聖籠町議会 (第28回町村議会全国コンクール 優秀賞受賞)  
 福島県猪苗代町議会 (第28回町村議会全国コンクール 部門賞(表紙写真)受賞)  
**目 的** 議会だより編集方法等 について

## 聖籠町の概要

位 置 : 新潟県の海岸地帯の北部  
 面 積 : 37.99km<sup>2</sup>  
 人 口 : 14,343人(6月末現在)  
 一般会計予算 : 68億5800万円



## 猪苗代町の概要

位 置 : 福島県のほぼ中央  
 面 積 : 395.00km<sup>2</sup>  
 人 口 : 15,493人(6月末現在)  
 一般会計予算 : 79億1500万円



## 比 較 表

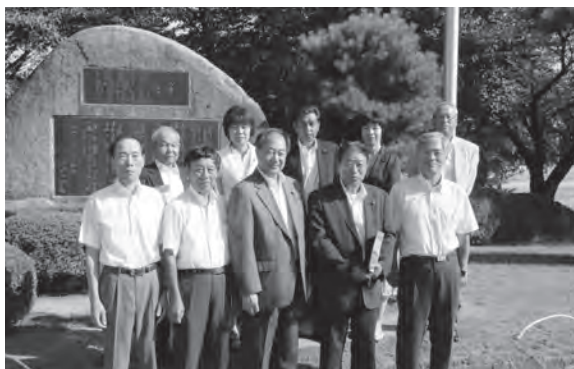
	委員数 (人)	委員会 開催数(回)	平均 ページ数	一般質問	町民の声	組合報告	発行部数	配付依頼	課題
吉見町	5	3	13.5	半ページ	募集中	有	6,400	区長	いかに読んでもらうか
聖籠町	6	4	22.5	1ページ	毎回	してない	4,500	区長	いかに読んでもらうか
猪苗代町	7	4	16.0	1ページ	毎回	してない	5,500	区長	いかに読んでもらうか

## 吉見町の議会だよりへの意見(両町より)

- ・表紙の写真が人物の場合は繊細に考えること。
- ・型にはまってしまうこと。
- ・余白を設けること。

その他、色々な意見をいただきました。

編集委員一同、気持ちを新たに今後も研修の成果を生かし、町民に親しまれ読まれる広報づくりに努力してまいります。今後においては、町民の声等にもご協力をお願いします。



## 教育福祉常任委員会閉会中の 所管事務調査報告

教育福祉常任委員会 | 安孫子和子 委員長 |

期 日 平成26年8月25日  
場 所 吉見町立吉見中学校  
吉見町民体育館

調査事項 1) 吉見町立吉見中学校校舎大規模工事の進捗状況について  
2) 吉見町民体育館のトイレ洋式化修繕及び屋根雨漏り等修繕工事について

吉見中学校では、外壁の改修、内装の木質化、空調設備の設置状況等について調査しました。普通教室においては、内装木質化、エアコン設置に加え、照明のLED化、可動式黒板の設置など施行しており、工事出来高はおおよそ86%に達していましたが、教室の可動式黒板に時計が接触し一部配線が見える教室があり、きれいに収まるように対処するよう指摘しました。また、空調設備の運用基準は気温だけでなく、湿度も配慮した基準を作成し運用するよう要望しました。

町民体育館では、1階の男女トイレにそれぞれ1基ず

つ洋式トイレを設置しましたが、スペースを広げたため既存の出入り口の枠が残っており、安全のためカバーをするとともに注意喚起の表示を大きくするなど、安全のための工夫をするように、また、町民体育館は避難所となっているので、洋式トイレの増設を要望しました。また、屋根雨漏り修繕は、防水シートの張り替えやウレタン塗装で修繕しましたが、施設の長寿命化を図るため専門家などの意見を聴取し、雨漏りする前に計画的な修繕をするよう要望しました。以上、報告といたします。



### 町議会を傍聴してみませんか

次の議会は **12月定例議会**  
12月上旬から開催される予定です。

詳しいことは町議会事務局までお問い合わせください。  
**TEL 0493-63-5024** (ダイヤルイン)

## 第80回 全国町村議会だより研修会



平成26年7月10日(木)に東京都千代田区にあるシェーンバッハ・サボーで開催され、委員会を代表して3名の委員が出席し、分かりやすい表現、編集及び写真の見方等について研修をしてきました。



## 第20回 吉見町総合防災訓練



平成26年8月2日(土)にフレサよしみ南側駐車場で、防災訓練が開催され初期消火訓練に議員全員が参加しバケツリレーを体験しました。



### ▲ 表紙の写真によせて

平成26年9月27日(土)秋空の下、町内各小学校で運動会が盛大に開催されました。



### ◀ 表紙の題字

佐藤向日葵(さとうひまり)さん  
西が丘小学校一年生

元気なスポーツ大好き一年生です。筆を使って書くのは初めてでしたが、書いているうちに調子がでました。希望を込めてよしみの題字をかいてくれました。

## 編集後記

今年3月より、尾崎委員長以下メンバーは変わりませんが、議会だより編集特別委員会として、新たな出発をしました。

議会だよりに掲載する写真は、出来るだけ、委員会メンバーで撮影したものを使用しています。町の様々なイベントに伺い、町民の皆様を撮らせていただく折には、ぜひご協力下さいますようお願い申し上げます。

(秋山)



### 議会だより編集特別委員会

委員	長	尾崎	豊
副委員	長	秋山	真美
委員		杉田	しのぶ
委員		荻野	勇
相談役(議長)		宮崎	善雄